

学校だより

しらかば



第15号

令和7年 3月12日

西興部中学校

雪の下には何がある？

～人を大きく成長させるものとは～

校長 堀内 篤 宏

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」よく聞く言葉ですが、元々誰の言葉なのかはハッキリしません。2000年開催のシドニーオリンピックで日本女子陸上界初の金メダルをとったQちゃん（高橋尚子）の愛称で知られる高橋尚子さんが大切にされている言葉で、座右の銘とされているそうです。

高橋尚子さんは、岐阜県岐阜市生まれで中学から陸上競技を始め、岐阜商業高等学校、大阪学院大学を卒業されています。大阪学院大学時代には日本学生種目別選手権の1500mで優勝して全国で初タイトル獲得してから、日本インカレや全日本女子駅伝等で活躍されています。日本陸上長距離選手として注目され始めたのは、「リクルート」に入社して駅伝メンバー入りをしてからです。その後「積水化学」に転籍し実績を重ね、シドニー五輪女子マラソンで金メダルを手に入れました。笑顔でゴールする姿が世界に配信され有名になりました。翌年開催のベルリンマラソンでは、女子初の2時間20分突破となる2時間19分46秒の世界最高記録で優勝されています。



輝かしい経歴を持たれる高橋尚子さんですが「岐阜商業高等学校」では全国インターハイで予選落ち（十分すごいです）の成績で、全国で活躍するまでの実力は無かったそうです。高校の陸上部監督中澤正仁さんから贈られた言葉が座右の銘となります。この言葉を練習の支えとしたそうです。いくら練習しても記録が伸びないような時に、この言葉を自分に言い聞かせながらひたすら日々の地道な努力を積み重ねました。実は中澤監督も恩師に「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。」という言葉が贈られていたそうです。そして、高橋尚子選手が練習する姿をみて「やがて大きな花が咲く」とつけ加え彼女に送ったそうです。

高橋尚子選手の世界での活躍には、ご本人の努力とそれを支え、応援した人たちの絆が大きく関わっていますね。人と人の関わりは本当に大切です。

何も咲かない
寒い日は
下へ下へと
根をのばせ
やがて大きな
花が咲く

西興部村の小学生、中学生を支え、応援してくれる方がいらっしゃいます。通学時に交通事故に遭わないように見守り活動をしている方、総合的な学習の時間に講師として来て下さる方々等、地域の多くの方々です。また、今回、西興部村の小中学生のために使って欲しいと、島田功子様よりご寄附を頂きました。中学校では生徒の希望アンケートをとり、ウォーターサーバーを設置することにさせて頂きました。夏季には熱中症・脱水症の予防、冬季には温かい飲み物の確保等、生徒の健康・安全に活用させて頂きます。みなさんには応援してくれる多くの人たちがいますね。

